

# まこと通信

田川市議会議員

32歳!



Vol.29



撮影場所：石橋組本社  
会社設立は1917年(大正6年)6月1日。97年の歴史を誇り、田川地域では最も古い建設会社の一つ。

田川の活性化は  
観光で進め、地域  
を盛り上げたい。

今回の人

佐渡 文夫さん

1934年生まれ 80歳。  
株式会社石橋組入社後、石橋組社長に就任。  
現在、株式会社石橋組会長、田川商工会議所会頭、田川広域観光協会理事長。

(佐々木) 田川広域観光協会の設立から、理事長として先頭に立ってご奮闘しているのをいつも見えています。

(佐渡) 田川の活性化は観光でぜひ進めたいと思っています。田川地域は日本三大修験道である英彦山をはじめ、温泉や陶芸、各地のお祭りなど、たくさんの観光資源がありますよね。しかしその観光資源が繋がっていないことが以前からもったいない、と感じていました。田川地域を一つにして、広域的に観光という視点で地域を盛り上げていく、その思いで広域観光協会を運営しています。

(佐々木) 山本作兵衛氏の炭坑記録画が世界記憶遺産に登録されて大きく盛り上がりましたが、今後が課題でもあります。

(佐渡) そう、世界記憶遺産はもっと早く色々な動きをしないといけないと思っています。近隣の田川伊田駅舎との連携も大きな課題ですが、早く市としても取り組んでもらいたいです。

(佐々木) 広域観光協会設立後、県の「田川まるごと博物館」の取り組みも重なり、地域観光は盛り上がりを見せています。

(佐渡) 広域観光協会単体での目玉は今からの課題ですが、広域観光協会設立後、各地の盛り上がりが顕著に表れるようになってきました。例えばコールマインフェスティバルで行っている「ちびっ子相撲」は、子どもにすばらしい思い出をつくっていると思います。観光は、交流人口に効果があります。しかしもっと大切なのは、地域住民がより田川を好きになること、

田川の方々ももっと田川の良さを知ることなんです。

(佐々木) 地域を変えるのは、「とんぴん」になる人だと私も前から思っています。佐渡さんもその一人ですね。

(佐渡) はい、今これに私ものぼせています(笑)。



佐々木 まこと 後援会長  
伊藤 龍文

## 後援会長のひとりごと

田川市で初めての小中一貫校、猪位金学園が開校した。昨年の夏以来、学園校舎となる中学校の増築工事が続けられ、この3月末に完成、晴れて4月5日に開校式が行われた。私の双子の孫も新2年生となり、元気に式に臨み、新学園歌を皆と熱唱したようである。

ところで、私の自宅は学園から200m程の通学路に面している。工事中は中学生が小学校に間借りしていたことから生徒たちの声が聞こえず、さみしい思いがしていた。この4月からは小学生が加わり、黄色い声の倍返しとなった。子供たちの歓声は私たち高齢者にとって癒しと活力を与えてくれる、まさに健康のもとである。これまで校区住民と学校は大変良い関係にあり、子供たちも地域行事に楽しく参加するし、よく挨拶するよい子ばかりである。私たちもこれまで以上に学園と子供たちを、見守っていきたいと思う。

さて、住民で組織する猪位金校区活性化協議会では、緑豊かで自然に恵まれた地域の環境、とりわけ地域内を流れる猪位金川を活用するため、3年前から「水辺づくり委員会」を組織している。全長3km余りの川の源流近くに放置されていた水辺公園の草刈りを毎年行って整備している。

一方、県の事業で、下流域にも遊歩道や対岸に渡れる飛び石の設置など、子供も大人も楽しめる水辺公園づくりを計画し、この程3年がかりで第一期工事が終了した。私も早速孫を連れていったが、生き生きと遊ぶ姿を見て、やはり子供は自然の中で遊ぶのが一番だな、と再認識した。夏休みに多くの子供たちが清流の中で遊ぶ姿を見たいものである。今後も上流に向かって整備を続ける予定である。

# 一般質問

TOPIC  
1

## 下水道計画のずさんさを厳しく追及



田川市は「公共下水道全体計画」を策定し、下水道の敷設を計画しており、最終処分場に関しての地元同意なども行っています。しかし計画の中身を見るとずさんなものばかりで、このまま下水道事業を開始すれば、財政破綻する危険性が極めて高いと言えます。

この点について市長からは「我々としてはまだこの精査されていない数値の中で、議論は差し控える」という無責任な発言や、住民負担の増加についての質問でも「総合的に長期的な視点に立って協力を願っていかねばならない」と市民に説明のつかない中身で答弁しています。また執行部からも「あくまでも仮定値」といった答弁が繰り返されるなど、



公共下水道の最終処分場予定地とされる旧日通工跡地

巨額の税金を使う大型公共事業を実施するには極めて準備不足な状況が初めて分かりました。

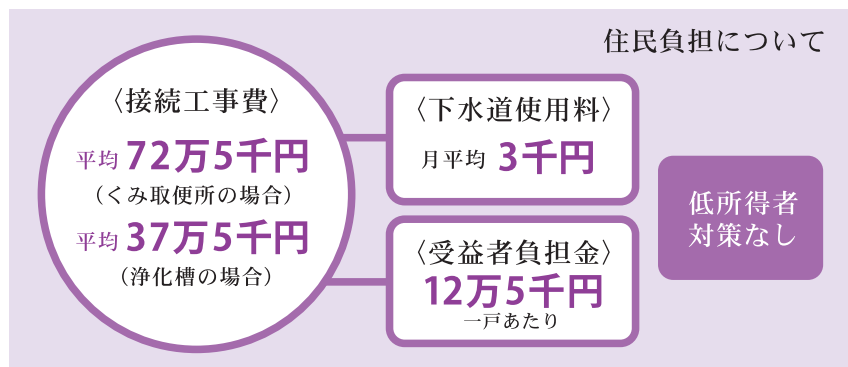
現在の下水道全体計画について抜本的な見直しを行うことが必須ですし、水処理については公共下水道だけではなく、様々な手法を検討することも大切だと思っています。

下水道事業は一度始めたら中止することは困難な事業です。これからも問題点を訴え、次の世代に大きなツケを残さないよう、取り組んでいきたいと思っています。

## 佐々木が考える下水道計画の問題点

### 問題 1 個人負担が多

工事が厳しいところの接続工事費用は、試算を大幅に超える場合があり、浄化槽も撤去費用が別にかかります。さらに、受益者負担金も低所得者対策はとられていません。



### 問題 3 工事排水の負担が多

下水道計画でつなぎ込みが予定されている工場では、最大で年間4907万円もの下水道料金が生じ、現在の浄化槽管理費用の数倍にも上ります。

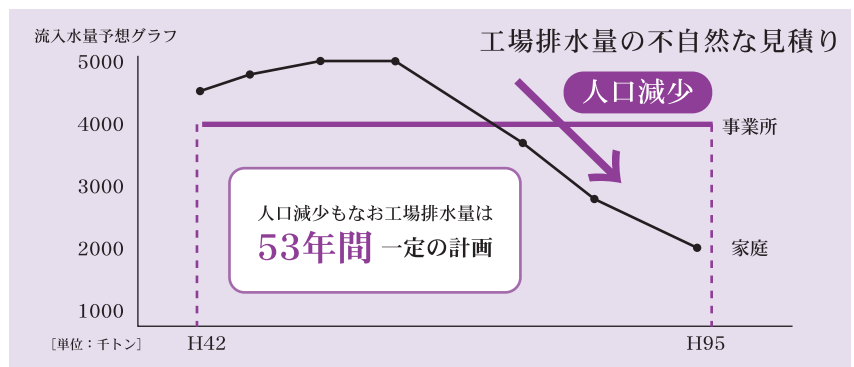


### 問題 5 財政計画が70年間で財務諸表なし

70年で黒字としつつも、市負担で133億円、市民負担（使用料・受益者負担金）で278億7500万円が生じます。また財務諸表の作成もされておらず、経営の健全度をはかることもできません。

### 問題 2 収入計画がずさん

下水道事業の根幹を握る収入部門では工場排水が53年間も同じ流入量になっており、明らかに不自然です。しかもこの流入量を維持しなければ財政計画が崩れ、計画が破綻します。



### 問題 4 工事費用の算定比率が46年前の工事

計画では他自治体の工事を比較して市の下水道配管工事の費用を算定していますが、昭和43年（物価で約6倍のちがひ）のものを参考としており、工事費が過小に見積もられている可能性があります。



### 問題 6 隠れ負担・二重負担が存在する

市営住宅の受益者負担金約5億6千万円は市の実質負担に計上されていません。星美台住宅団地は集合合併の受益者負担金を30万円の支払いに加え12万5千円を支払う義務が生じる計画になっています。



# 活動報告

## 2/2 加治忠一香春町長選挙応援



いつもお付き合いのある加治町長の選挙応援でポスター貼りを行いました。4期目の当選を果たしています。

## 2/9 龍谷大学議員質問力研修



一般質問の能力を高める研修で、私はコーディネーター役を務めました。

## 2/17 議員インターン生と



沖村さん（写真左）と齊藤君（写真右）が今期の議員インターンに参加。2ヶ月間私のもとでしっかり勉強しました。

## 3/20 街頭演説



当初予算案否決などについて街頭演説。今後もしっかり伝える活動を続けていきます。

## 3/27 伊万里市議会議員研修講師



議会改革や議会基本条例について、伊万里市議会の皆様に講演をしました。

## 4/3 樋渡啓祐武雄市長選挙応援



樋渡市長とは2期目の市議選では私の応援に田川まで駆けつけて頂くなど、以前より親交があります。3期目も圧勝でした。

### January 1月 (14日から)

- 14 後援会会議
- 15 一般質問勉強会
- 17 飯塚市下水道事業行政視察
- 18 まこと通信打合せ/後援会会議
- 19 平成26年田川市消防出初め式/まこと通信打合せ
- 20 後藤寺商店街へそくり市/猪位金小学校給食見学  
東鷹同窓会本部理事会
- 21 まこと通信作成作業
- 22 フローレンス・駒崎弘樹さん会合（東京）
- 25 労働政治懇談会青年部対話集会
- 26 ドットジェイピー議員インターン2次面接
- 27 市議会各会派代表者会議
- 28 まこと通信打合せ
- 29 まこと通信打合せ/市民相談
- 31 東鷹同窓会平成26年学年幹事新年会

### February 2月

- 1 後援会会議
- 2 香春町長選挙支援行動
- 3 まこと通信配布作業
- 4 加治忠一香春町長出陣式
- 5 市議会総務文教委員会
- 6 まこと通信配布作業
- 7 市議会全員協議会
- 8 龍谷大学・議員質問力研修（京都市）
- 9 龍谷大学・議員質問力研修（京都市）  
後輩結婚式（京都市）
- 11 まこと通信配布作業/平和憲法をいかに会第9回総会
- 12 市民相談対応
- 13 企業挨拶廻り
- 14 後藤寺商店街水洗公衆トイレ完成記念式典
- 17 直方市下水道事業行政視察
- 18 まこと通信配布作業
- 19 一般質問勉強会/猪位金小学校招待給食会  
連合福岡京築・田川地域協議会 春闘キャラバン集会
- 20 市民相談対応
- 21 松本武洋埼玉県和光市長と会合（東京都）
- 24 新年度予算学習会
- 25 市議会本会議（1日目）
- 26 市議会総務文教委員会
- 28 東鷹同窓会入会式（全日制）

### March 3月

- 1 東鷹高校全日制・定時制卒業式
- 2 猪位金校区「福祉のつどい」
- 3 ごとうじ雛めぐり/福岡県庁下水道課行政視察
- 4 一般質問原稿作成作業
- 6 市議会本会議（2日目 一般質問日）
- 7 市議会本会議（3日目 一般質問日）  
市議会代表者会議
- 8 上位登会総会
- 9 議員インターンOBG会会議（福岡市）
- 10 市議会総務文教委員会
- 11 地元後援会会議
- 13 猪位金中学校卒業式/東鷹同窓会本部理事会
- 14 猪位金小学校卒業式 /市議会総務文教委員会  
まちづくり講演会
- 17 たがわこどもセンター『まいまい』完成記念式典
- 18 市議会各会派代表者会議
- 20 市議会本会議  
龍谷大学議員質問力研修会合（京都市）
- 21 田川民俗芸能祭/田川まるごと博物館開館1周年記念フォーラム
- 23 平成25年度田川市消防団春季錬成大会  
白鳥保育園卒園式  
猪位金小学校校舎お別れ式  
後援会会議
- 24 市民相談対応
- 25 市民相談対応
- 26 後援会会議
- 27 佐賀県伊万里市議会講演
- 28 市議会臨時議会
- 29 市民相談対応
- 30 上位登区総会

## 田川の未来は、変えられる。

### 佐々木 允(ささき まこと)

**Profile**  
福岡県田川市生まれ  
生年月日：1981年5月6日 血液型：O型

**学歴**  
田川市立猪位金中学校卒業  
福岡県立東鷹高等学校卒業  
龍谷大学法学部政治学科卒業  
北九州市立大学大学院法学研究科修了(法学修士)

**現職**  
田川市議会 総務文教委員会委員  
田川市国民健康保険運営協議会委員  
田川市育英資金委員会委員  
社会福祉法人猪位金福祉会経営企画部 部長

blog, Twitter, facebook  
佐々木 まこと で検索





# 2014年度当初予算否決 石炭歴史博物館運営に異議

議会は3月20日の定例議会で2014年度の当初予算案を反対多数により否決されました。これは、田川石炭歴史博物館をこれまでの教育委員会(文化課)から、世界記憶遺産推進室の所管(形式的には「補助執行」)を変更する点に対して批判が噴出したことに伴うものです。

また議会へ提出した資料を意図的に改ざんする事件も発生し、執行部の議会運営に大きな批判が出ていました。特に資料改ざんは犯罪行為である上議会審議の根幹を揺るがす事件でした。3月28日には総額61億1340万円の暫定予算案が可決、本予算は改めて議会を開き審議することになっています。



予算否決を報じる新聞各紙

## 佐々木が考える問題点

- 博物館法19条(※)に違反する可能性がある。
- 博物館を所管していた文化課や館長も組織変更に関与していない。
- 博物館とは全く関係のない世界記憶遺産推進室が組織改編を主導。
- 議会への説明が3月議会まで説明もなかった。
- 条例改正を行わないまま組織変更を行った。

※条文：公立博物館は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会の所管に属する。

# 市財政、6年後には累積赤字発生か

2月に出された市長期財政見通しにおいて、田川市2020年度(平成32年度)には財政調整基金等が底をつき、累積赤字が発生し始めることが発表されました。来年度となる2015年度からはおおむね10億円以上の赤字を基金取崩等でまかなう事としていますが、近い将来、財政がひっ迫する可能性が十分に出てきました。

財政が極めて厳しいことが市側から出された中で、田川市は公共下水道やごみ焼却場といった大型公共事業を計画しています。それらの公共事業について厳しい目でチェックする必要があります。

田川市長期財政見通し

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
単純収支	△6億円	△9億8900万円	△18億1800万円	△11億400万円	△10億6100万円	△10億4400万円	△12億2200万円
執行残等改善要因	6億6300万円	5億8400万円	5億7200万円	5億5900万円	5億4700万円	6億3400万円	6億2200万円
基金取崩額	0円	4億500万円	12億4600万円	5億4500万円	5億1400万円	4億1000万円	3億6100万円
最終収支	6300万円	0円	0円	0円	0円	0円	△2億3900万円
基金残高	34億1400万円	30億7300万円	18億2800万円	12億8400万円	7億7000万円	3億6000万円	0円
累積赤字	—	—	—	—	—	—	△2億3900万円



まこちゃんがいく  
次回もお楽しみに!

## データで見る田川市



### 第5回 中心市街地の人口減少とまちなか居住

中心市街地の衰退の大きな原因と言われているのが、中心市街地に居住する方々の急激な減少です。この10年で田川市の人口は5.8%の減少(53448人→50317人 いずれも4月1日現在)ですが、図にあるように中心市街地はいずれもその3倍～5倍の減少となっています。

特に中心市街地は狭い土地が多く建物の建設が難しいことなどから、新規に移住することは厳しい状況にあります。しかし歩いて通勤や生活ができる街は大きな価値のある場所でもあります。後藤寺・伊田両地域の場合、面的整備(都市再生整備計画や土地区画整理事業)などを行いながら居住地と商業地の整理を行い、まちなか居住を推進することでにぎわいをつくり出すことも検討すべきです。

### 減少率の高い主な中心市街地

〈後藤寺地区〉

地区	2004年	2013年	率
本町	413人	332人	—19.6%
春日町	512人	373人	—27.1%
大黒町	334人	261人	—21.8%

〈伊田地区〉

地区	2004年	2013年	率
伊田町	458人	321人	—28.8%
番田町	283人	223人	—21.2%
日の出町	237人	190人	—19.8%

(なお住民票上の数字のため、行政区加入世帯等とは差異がある)

〈田川市全体〉

地区	2004年	2013年	率
田川市全体	53440人	50317人	—5.8%

いずれも4月1日現在

無料法律相談  
実施中

月に1回(おおむね月の下旬)、弁護士による無料法律相談を実施しています。お気軽にご相談ください。

(連絡先:0947-42-2199)

佐々木まこと後援会事務所

〒826-0044  
福岡県田川市大字位登876 mail makt56@hotmail.com

blog, Twitter, facebook 佐々木まこと で検索してください!

